

武蔵影向寺跡(むさしやうこうじあと) (川崎市)

影向寺は、奈良時代の天平12年(740)、聖武天皇の命を受けた僧行基によって開創されたと伝えられていますが、近年の発掘調査の結果、創建の年代は白鳳時代末期(7世紀末)にまで遡ることが明らかになりました。(ホームページより)



山門



境内側から見る



発掘調査から推定された創建当初の影向寺はそれほど大規模な寺院ではなく、在地周辺を統治した有力豪族の私的な仏堂ではないかとされる。

影向寺

当寺は、天武宗に属しています。縁起によれば、天平十一年

(七三九)光明皇后がご病気のおり、聖武天皇は夢告で武蔵国橘樹郡橘郷、すなわちこの地に靈石のあることを知り、早速、当時の高僧行基を使わし祈願させたところ靈驗あらたかたで、皇后のご病氣も快ゆされたという。そして聖武天皇の勅命により、この地に伽藍がそびえたのは、その翌年のことであると伝えていきます。事実、境内から採集された古瓦の中には、奈良時代のものが含まれており、当寺の創建が縁起に近いことがわかります。

境内の安置堂内には、当寺が古刹であることをうらづける数多くの文化財が所蔵されています。

重要文化財に指定されている、本尊の木造薬師如来坐像(椀材)と両脇侍立像椀材の三軀は、一木造で、平安時代後期の作品です。

風格のあるおだやかな表情とあふれる量感が特徴的です。この本尊には、木造二天立像二軀(平安時代後期)と木造十二神将立像十二軀(室町時代)が眷属として侍立しています。また、木造聖徳太子立像一軀(室町時代)もあり、いずれも川崎市重要歴史記念物に指定されています。

薬師堂は、江戸時代初期の万治年間(一六五八〜一六六〇)に火災で失い、その後まもなく復興したと伝えられているもので、現在の薬師堂がそれにあたるものとおもわれます。建立の時期は建築様式上の特徴から、寛文頃(一六六一〜一六七二)のものと考えられています。

境内の東南隅にある影向石は、縁起でいう靈石にあたるものではないかと推定されています。塔の心礎であろうといわれています。また、江戸時代の民衆が本尊によせてきた信仰を物語る絵馬や昔話の舞台となった乳をさぐり母親が祈願したイチヨウの大木など、当寺にかかわる歴史的な話題は数多く伝えられています。

川崎市教育委員会
重要文化財保存会

薬師堂/江戸時代中期の元禄7年(1694)に建立



万5間で、寄棟造の茅葺(現在は銅板葺)の屋根であり、正面1間に銅板瓦捧葺の向拝を付けている。また、堂の形式・建具・軒などの外観の基本を和様としながらも、柱上部などに禅宗様の意匠を採用している。



影向寺薬師堂

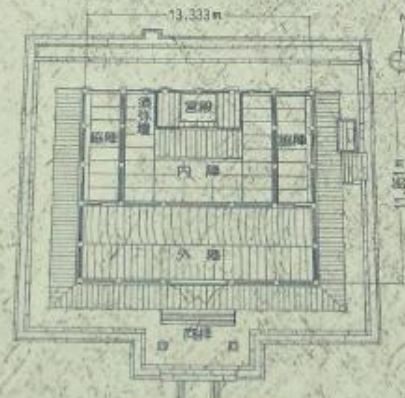
影向寺は、奈良時代の天平12年(740)、聖武天皇の命を受けた僧行基によって開創されたと伝えられていますが、近年の発掘調査の結果、創建の年代は白鳳時代末期(7世紀末)にまで遡ることが明らかになりました。現在の薬師堂は、創建当時の堂宇とほぼ同じ位置にあり、江戸時代中期の元禄7年(1694)に建立されました。棟梁は橋本郡稲毛領清沢村(現在の高津区千年)の大工・本職長右衛門直政です。

薬師堂の規模は方5間で、寄棟造の茅葺(現在は銅板葺)の屋根をあげ、正面1間に銅板瓦葺の向拝を付けています。内部は、前面2間を信徒の入る外陣、後方3間を神聖な空間である内陣、その両側を脇陣とし、特に、内陣・外陣・脇陣の境を中敷居と格子によって厳重に結界するのは中世以来の密教本堂の形式を伝えるもので、薬師堂の大きな特徴です。また、堂の形式・建具・軒などの外観の基本を和様としながらも、柱上部などに禅宗様の意匠を採用しています。

薬師堂は、間口3間の厨子(元禄7年造立)などとともに、昭和52年8月19日、神奈川県的重要文化財に指定されました。

平成4年3月

川崎市教育委員会



影向寺薬師堂平面図



残念ながら「形」は良くない









鐘樓堂/昭和48年建立





太子堂/昭和55年建立



八角堂なのだがこれも「形」は良くない





手水舎





影向石



影向石

当寺のいわれとなった霊石。奈良朝に本寺創建のとき、ここには美しい塔が建てられ、その心礎として使用されました。心礎には仏舎利が納められ、寺院の信仰の中心となります。「影向えいこう」とは神仏の憑りますところのことです。寺域は大古より神聖な霊地、神仏のましますところとして、信仰されていたものでしょう。幾星霜をへ、塔が失われた以降、この影向石のくぼみには常に霊水がたたえられて乾くことなく、近隣から眠を患う人々が訪れて、その功験によっていやされました。江戸のはじめ元治年間に薬師堂が火を蒙ると、本尊薬師如来は自ら堂を出でて、この石の上に難をのがれたといわれ、それ以来、栄興あるいは養光の寺名を影向とあらためたと伝えられます。

昭和五十一年五月吉日

重要文化財保存会



力石



カ 石

にぎやかな祭礼の日、村の老若男女は影向寺へ集まります。若衆たちは相撲を奉納したり、大きな石をもちあげて力を競いあいました。祭りは昔の人々にとつて信仰の場であるところ、日々の疲れをいやす場であり、若い男女の語らいの場でもあったのです。このカ石には品川 綱島 大尾とあり、となりのものには下作 延村の名もみえます。はるか遠方からも当寺へ参詣人が集まっていたことが知られるでしょう。

昭和五十一年五月吉日

重要文化財保存会

安置堂/国指定重要文化財の薬師如来像などが安置されている





所謂収蔵庫なのだがもう少しデザインをそれらしくできなかったものか



六地藏





阿弥陀堂/総ヶヤキ造り



「形」は見る価値もなかった

乳イチョウ/神奈川県の名木100選に指定



通りすがりに見つけた武蔵国橘樹郡衙(むさしのくにたちばなぐんが)推定地



橘樹郡衙（たちばなぐんが）は奈良・平安時代の武蔵国橘樹郡の役所で、七世紀後半に造営されました。

ほぼ同じ頃には影向寺も橘樹郡の寺として創建され、この丘は古代川崎の政治・文化の中心地でありました。

川崎高津ロータリークラブは創立二十五周年を記念し、郷土の誇りとしてここに石碑を建立するものであります。

平成二十二年五月吉日

川崎高津ロータリークラブ







むさしのくに たちばなくんが 武蔵国 橋樹郡衙推定地

橋樹郡衙とは、奈良・平安時代の武蔵国橋樹郡の役所のことで、古代の橋樹郡は現在の市域にほぼ相当しますので、古代の川崎市役所といってもいいでしょう。川崎市教育委員会では、平成10年(1998)年度から6年をかけて橋樹郡衙の所在を推定するための発掘調査を行い、伊勢山台から影向寺方面にかけて橋樹郡衙に関連すると考えられる42棟以上の発掘建物跡などが発見されました。

なかでも、ここには官衙創設期の正倉群が発見された重要な区域で、平成18年(2006)年度に土地を買収・借用して平成19年度に緑地として整備し、平成20年4月に千年伊勢山台官衙遺跡として川崎市重要史跡に指定され、将来にわたって建物跡を地下に保存し活用していくことになりました。

平成20年4月 川崎市教育委員会

解説

橋樹郡衙推定地では、竊など各保管した倉庫と考えられる発掘建物21棟や郡の役人が仕事をしていた倉庫などと思われる発掘建物20棟以上・床室建物1棟、区画や目録しなどのための塼・溝百条とともに、土師器・須恵器・丹波埴・鉄製刀子など、当時使われていた土器や文書用具類などが発見されています。ただし、郡衙の中心の遺構である前行(3行)は、まだ発見されていません。これらの建物跡は、約150年の間に1期(7世紀後半から8世紀初頭)→Ⅱa期(8世紀前半から中葉)→Ⅱb期(8世紀中葉から後半)→Ⅱc期(9世紀前半)と移り変わっています。1期は、島の字配置の倉庫群のように建物はずべて主軸を北から西に30度ほど傾けて建てられているのが大きな特徴です。それがⅡa期になると、建物は軸や瓦列を東西南北の方向に合わせきれいに並び、官舎が大規模に整備されます。そしてⅡc期になると建物は小さくなって数も減っていき、9世紀の中頃に官衙としての役割を終えたと考えられます。

橋樹郡衙推定地の北西には古墳時代の川將を支配していた藤原の要である西徳寺古墳や高橋古墳などの横ヶ谷古墳群があり、その藤原の拠点が橋樹郡衙推定地周辺ではないかと考えられます。影向寺境内の発掘調査では、影向寺が創建される7世紀末以前に建てられた遺構の跡と考えられる竊立建物跡も発見されています。藤原は後の郡令体制のもとでも郡衙となって最も近くに橋樹郡衙と橋樹郡の公的な寺社群である古代の影向寺を運営して、引き続き古代の川將を支配したのではないかと考えられます。



所在地：川崎市川崎区高津区
 所在地：川崎市川崎区高津区
 指定面積：3.1ヘクタール
 指定区分：川崎市重要史跡
 時代：奈良・平安時代



島の字配置の倉庫跡
 築造時期は、島の字配置の跡を基として中心部は
 発掘調査によって推定されています。



推定された郡衙の正倉群と影向寺の境内
 写真：川崎市教育委員会

周辺の文化財



橋樹郡衙跡 子徳に長徳

平安時代中期頃の約1,100坪の敷地、子徳に長徳の墓所遺跡
 【所在地】高津区高津1-146



影向寺跡 西徳寺古墳

8世紀末～9世紀初頭の中期で、水堀や石造りの基礎が出土
 【所在地】高津区高津1-17



影向寺跡 高橋古墳

白河土で構築された大型の竊立の墓所跡
 の発見から7世紀後半の創建
 【所在地】高津区高津994-10



影向寺

779年に創建された古刹で、橋樹郡の中心と考えられる。歴史的遺構は土師器の土器や須恵器の土師器など、重要文化財の発掘
 【所在地】高津区高津1413



影向寺

百五十年にわたる歴史と伝わる。東部の重要文化財の千手観音菩薩が古墳などの中心部から出る貴重な文化財を今も伝える。
 【所在地】高津区高津334



影向寺

橋樹郡衙の推定地から約1.5キロメートル離れた所に、影向寺の境内に発見された古墳の跡と推定されています。
 【所在地】高津区高津1-122
 土師器の出土 高津区高津1-122

影向寺



インターネットより

ホームページ

<http://yougouji.org/>



インターネットより



インターネットより